

王滝村地域おこし協力隊 協力隊だより

令和6年1月
編集：近藤太郎



泉 由希子
(令和5年度採用)
支援企業：
(株) シシ

新年あけましておめでとうござ
います。協力隊の泉です。王滝村
に来て2年目となる今年は、王滝
村の皆様と豊かな暮らしを送りな
がらも、自分の活動をより具体化
できるよう日々精進してまいりま
す。2024年もどうぞよろしく
お願いいたします。

【スキー場オープン準備】

11月上旬、御岳スカイラインが
閉鎖し、やまテラス王滝も冬季休
館となった頃、御嶽スキー場の準
備が本格化しました。まずはス
キー場の草刈りです。草刈りは夏
から継続して進められており、10
月終盤にはすっかりスキー場の土
台が出来上がりました。私はほん
の数日携わっただけです。私はほん
の草刈りに悪戦苦闘、身体中が筋
肉痛・・・毎年草刈りなどのグレ
ンデ整備に関ってくださるスタッ

フには改めて感謝の思いでいっぱ
いです。

パトロール業務としては、リ
フト支柱など衝突する危険性が
ある人工物にマット類を巻いた
り、ネットで囲う作業に時間を費
やしました。大きく重たいマット
を持ってゲレンデ内を歩き周りな
がらの作業は中々ハードですが、
マットやネットが設置されたグレ
ンデは一気にスキー場の装いにな
り、オープンに向けて気持ち
日々高まりました。



リフトの荷重試験、救助訓練も
索道係と協力して行いました。救
助訓練は営業中のリフトが緊急停
止した場合を想定し、実際にリフ
トに乗車したスタッフを救助用の
ポールを使い降ろしていきます。
本番さながらお互いに声を掛け合
い手順を確認しながら訓練に臨み
ました。万が一のことが起きた時
にお客様を安全に救助出来る体制
を整えて、いよいよスキー場の

オープンは目前です！

【12月9日スキー場オープン】

12月9日(土)、御嶽ブルーが
広がる快晴という素晴らしい日に
御嶽スキー場23・24シーズンがス
タートしました！必死の降雪部隊
の作業のおかげで、ファミリー
コースをオープンすることが出来
ました。限られたゲレンデではあ
りましたが、オープンを心待ちに
してくださっていたお客様の輝く
笑顔にとっても感激しました。

基本的にパトロールとして勤務
している私の一日は、始業点検
に始まり、営業中の巡回、コー
ス管理、怪我人が発生した場合
の搬送・応急手当、そして終
業確認をして翌日に備えます。



日々の訓練も大切で、アキヤボー
トでの搬送の訓練や、三角布など
を使った応急手当の練習も、空き
時間に行っております。身に付け
るべき技術や知識がたくさんあ
り、日々勉強の毎日ですが、この
緊張感の中、大好きなスキー場で
働けることに感謝し、一日一日を
大切に過ごしていきたいと思いま
す。



【御嶽ゲレンデ探検隊】

少しでも多くのお客様が来て
くださるような企画が出来ない
か・・・お子さんが楽しんでい
ただけるイベントが出来ないか・・・
そんな想いからスキー場と共同し

て、『御嶽ゲレンデ探検隊』という企画を発案し、1月6日からスタートしました！ゲレンデ内に隠されたキーワードを見つけると、スキー場オリジナルのグッズがもらえます！キーワードは1月、2月、3月と月ごとに変わり、キーワードを見つけた回数によって景品も豪華になりますので、是非毎月参加してください！



高橋卓也
(令和4年度採用)
活動拠点：
王滝村観光案内所

「まほろば珈琲へ」

「ようこそそのお時間」

☆珈琲豆のその後の意外な行方？
☆ゆる活実行委員会の誕生！！

皆様、あけましておめでとうございませう。王滝村地域おこし協力隊の高橋です。さて今年もやってまいります、【まほろば珈琲へようこそそのお時間】です。

このコーナーでは毎週木曜日開催のまほろば珈琲で起こっている出来事やその感想などを楽しくお伝えしていきます！

一つ目の話題は

【珈琲豆のその後の意外な行方？】

です。まほろば珈琲では毎週様々な国の珈琲をドリップしてその際に珈琲のカスが残りますが、実を言うところの珈琲カスは様々な使い道があるんですよ！例えば、部屋に置けば脱臭剤として、畑に撒けば害獣避けや肥料に、さらには除草剤としての役割も。染料・塗料にもなるらしく、他にも使い道がありそうですね！捨ててしまうのなんて勿体ない。です。が有り難いことにまほろば珈琲で出る珈琲カスを再利用してくださる方がいらつしやります！とてもエコですし、これらの効能をご存じだったという事に驚きました。作り出すことはしてもその後の事にはあまり目が向けられない日本では、このように一つの物に向き

合い最大限利用していくことは環境保全にも繋がっていくのではないのでしょうか？個人的にも学ばせていただけたことを感謝しています！

では二つ目の

【ゆる活実行委員会の誕生！！】は、

王滝村の新たなボランティア団体として定期的に土日のどちらかで公民館をお借りして自分たちの好きなことをしながら皆で集まれる空間を作っていきます。誰でも参加OKでゆるく遊べるので顔を出してみただけでも面白いかもしれませんよ♪まほろば珈琲は平日開催で、普段来れない方でも参加しやすいと思いますので是非参加してみてくださいね！詳しい情報は回状等で回ってくると思いますのでそちらをご覧ください。因みに私もボランティアスタッフとして参加する予定ですのでよろしくお願ひします！



明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願ひ致します。11月末からの活動を紹介します。と思っています。

【武蔵野美術大学

キャリア講義のゲスト講師】

11月28日、僕の母校である武蔵野美術大学へゲスト講師として登壇しました。授業は「キャリア選択基礎」と言って大学1・2年生に自身の大学院修了後の活動についてお話しするというものです。コロナが始まると同時期に木曾へ移住し、大学の先生であった現代美術家・岩熊力也さんと共に地域にアートを根差す「木曾ペインティングス」というプロジェクトをやっていたことや、王滝村で倉橋孝四郎さんにダム歴史や村の未来を壁画にする依頼を受けた事、またそれをキッカケに王滝村へ移住し「流域」と「アート」をテーマに協力隊として活動している事を9分お話しさせて頂きました。授業を受けた学生は僕の出身学



近藤太郎
(令和4年度採用)
支援企業：
合同会社 Rext 滝越

科の油絵を含むファイン系（美大では油絵や日本画、彫刻などをこう呼びます）だけでなく、デザイン系もいて卒業後の進路も考え方も多様に異なる学生たちでした。授業の一環で地方の地域と関わりながら美術プロジェクトを行う学生もいて、地域に入り込んで活動を行う時の住民との関わり方の悩みや、自身の表現活動と地域の求める事をどの様に繋げていくか？などという質問も受けました。正直私も手探り状態で明快な事は言えませんでしたが、その様に悩む学生がいるという事に自分が今の様な活動を続けていく意義を感じました。授業感想を一人掲載したいと思います。

【授業感想】 2年映像学科

地域を活性化させるためのアートというのを自分はあまり意識したり調べたことが無かったのですが今回のお話は自分にとってとても新鮮でした。歴史と人々と行った社会にもろ直属するコミュニティにアートを上手く織り交ぜていくというのはまた違った技術と考えが必要な仕事だなと感銘を受けました。求められていないかもしれないのに何故アートをやるの

か、どうビジネスと繋げていくかなどと言った俯瞰した考え方や実際あった依頼とその応え方を聞くことができ大変興味深かったです。自分の中でのアートの可能性であったり認識の視野が広がりました。



【俳優・沢柳優大さんの人形浄瑠璃初級講座】

12月11日、王滝小学校で俳優の沢柳優大さんを講師に迎え人形浄瑠璃の授業を開催しました。全年齢の子どもたちと村民が参加し、人形浄瑠璃についての基礎的な知識、楽しみ方、最後には体を動かして人形を操る事を体験しました。

なぜ人形浄瑠璃なのか？という

のは優大さんのお父様が人形浄瑠璃の文楽で三味線弾きであり、幼少の頃から親しんだものだったそうで、優大さん自身は京都の劇団に所属する俳優ですが、俳優と並行して人形浄瑠璃の魅力を知って貰う活動をしたとの思いがあり、今回の機会に至りました。

用意されたスライドを中心に授業は進み、選択クイズで知識問題が出題され参加者みんなで答えながら学びました。長野県には意外にも公演している座が多い事や、木曾との深い繋がりについても驚きでした。

また三味線弾きが使用する象牙のぼちの実物を見せて頂いたり、物語の語り手「太夫」が物語やセリフを語る際に使用する脚本の様なものも実物を見せて頂きました。書かれた字はなんとなく日本語と分かりますが、全体的に丸みを帯びていて一つ一つが生き物の様な形をしていて驚きました。これをどう読むの？という疑問もありますが、読めるようになったらこの形から読み方、声の大きさや抑揚が生み出されそうな気もして、古くから継承されるものに対する分かなさと、そこから生まれる

未知の芸術に畏敬の念を抱きました。

最後には人形はありませんが、私・近藤を人形として、子ども達も人形遣いとして動きを操ってみるといふ事をやりました。これは意外に面白く、左右の腕と頭を動かす人が異なるので息を合わせないと「手を合わせる」という動きすらうまく行きません。操られる側も自分の意思ではない動きをしている自分の体に不思議さを感じます。最後には決めポーズで、ぎこちなく動く人形に笑いが溢れながら授業が終わりました。





杉野明日香
集落支援員

明けましておめでとうございませす。本年もよろしくお願いいたします。

今年元旦から能登半島での大きな地震、航空機事故、九州での大規模火災と災害が続き、王滝村でも年末の火災があり心休まる年末年始とはいきませんでした。亡くなられた方へのご冥福と被災された多くの方々が1日でも早く日常を取り戻せるように祈っています。

昨年12月3日に今年度の長野県立大学とのプロジェクト「ひろがれ！推し村プロジェクト」の第2期の成果報告会が行われました。

3月よりスタートした第2期でも多くの村民の方にご協力いただきありがとうございます。

報告会には20名以上の村民にご参加いただき、学生からの発表と座談会が催されました。今回のプロジェクトでは3月に2週間の滞在が実現し、小学校と村民の合

同運動会の参加、夏のふれあい祭りへの出店、「秋の祭典」を主催、空き家DIYイベントの開催など学生たちが実際に取り組んだ事の報告の他、今年の活動テーマである「好きを解放する」という事から村の関係人口の増加を狙う目的までわかりやすく報告していただきました。



座談会では発表を聞いての感想などを共有しました。学生さんたちから村での滞在の楽しさや自分たちの心境の変化、参加者の皆さんからは「同年代の人たちが頑張っている話が聞けてよかった」「皆さんが楽しそうに活動しているのが刺激になった」などのお話

がある中で、それぞれの中で「好きを解放する」を改めて考えたり、自分たちでも「好き」をいかに実践していくかを考える良い機会であったように思います。



学生さんたちは「村はこういった事に取り組んだら良いのでは」と言いたいわゆる「提言」「提案」をするのではなく、自分たちが「実践」す

るプロジェクトを行っています。その事が村に喜びや変化をもたらしているのを実感するプロジェクトでした。

今年もこちらのプロジェクトは計画予定です。長野県立大学で今年も希望者を募り、昨年とはまた違った学生さんが来られます。3月中旬頃より最初の滞在が始まる予定です。

新たなメンバーとともに一緒にできたら幸いです。



*****ご案内*****

R5年12月に空き家対策処置法という国の法律が改正されました。一言で表現すると「管理されていない空き家に対して、固定資産税が従来の6倍になる」ことが大きな改正内容です。

もちろん全ての空き家に対してではありませんが、放置される空き家を減らすために国として対策がとられていきます。

空き家についてご相談があれば気軽に声を掛けください。